

会議議事録

会議名	2020年度第2回看護分野教育課程編成委員会
対象学科	看護科
開催日時	2021年2月9日(火) 15:00~17:00
場所	本校3階303教室
出席者 (敬称略)	<p>① 企業等委員：大沼扶久子(公益社団法人東京都看護協会西部地区理事)、中西佳美(医療社団法人河北医療財団河北総合病院 看護部キャリア開発支援室室長)(計2名)</p> <p>② 本校委員：橋本正樹(校長)、前田律子(看護科担当副校長兼看護科学科長)、伊東由美(看護科副学科長)、宮下明久(事務局長)(計4名)</p> <p>③ オブザーバー：岡本隆行(看護科教員)、渡邊明子(看護科教員)(計2名)</p> <p>④ 事務局：松本晋圭、安里良美(計2名)</p> <p style="text-align: right;">(合計10名)</p>
欠席者	なし
配付資料	<p>① 事前送付：□資料1：2020年度第1回看護分野教育課程編成委員会議事録(案)、資料2： 前回委員会以降の主な成果報告 資料3：新型コロナウイルス(COVID-19)が看護職養成校に与えた影響を俯瞰して 資料4：2021年度の実習組み立てに向けて東京都への確認事項、 資料5：実習施設概要、 資料6：2021年度在宅看護論実習、 資料7：2021年度実習関連変更事項、 資料8：2021年度実習計画、 資料9：改正カリキュラム枠組み(教育内容のマトリックス) 2022年改正カリキュラムにむけて 資料10：カリキュラム変更に伴う科目及び単位数の変更</p>
委員長	前田学科長
議題等	<p>1. 校長挨拶</p> <p>橋本校長より、看護科はまだ授業を行っているが、他の学科はようやく期末試験にたどり着いた。今後も未確定の要素が多いが何とか対応していきたい。看護科は昨年12月中に3年生の実習が終わり、今度の日曜日に国家試験がある。このような厳しい世の中で、あえて看護師になろうという方もいる。よりよい教育を行うため、本日は教育の内容についてご意見をいただきたい、との挨拶が行われた。</p> <p>2. 前回委員会議事録の確認(資料1)</p> <p>委員長より議事録(案)について諮り、修正がないことが確認された。</p> <p>3. 前回委員会以降の主な経過報告(資料2)(説明者：宮下事務局長、事務局松本)</p> <p>資料2に基づき説明が行われ、確認、了承された。説明の詳細は別紙のとおり。</p> <p>4. 2020年度の活動報告</p> <p>①新型コロナウイルス(COVID-19)が看護職養成校に与えた影響(前田)(資料3)</p> <p>②2021年度実習組み立てに向けての準備(前田)(資料4~6)</p>

資料 3～6 に基づき説明が行われ、確認、了承された。説明・質疑・意見の詳細は別紙のとおり。

5. 2021 年度の教育活動と学科運営について

①2021 年度実習関連変更事項（渡邊）（資料 7、8）

②2022 年度改正カリキュラムに向けて（伊東）（資料 9、10）

資料 7～10 に基づき説明が行われ、確認、了承された。説明・質疑・意見の詳細は別紙のとおり。

6. 次回日程、その他

次回の日程は改めて調整させていただくこと、予定している議題は①2021 年度の教育活動と学科運営の進め方、②2022 年度入学生カリキュラム案へのご意見伺いであることの説明が行われ、確認、了承された。

以上

2020 年度第 2 回看護分野教育課程編成委員会の主な討議内容

3. 前回委員会以降の主な経過報告

○宮下事務局長、事務局松本より、資料 2 に基づき以下の説明が行われた。

1. 学生の状況関連

(1)退学の状況

(2)2020 年度・就職内定の状況

2. アンケート関連

・前期は、新型コロナの関係で授業進捗が様々だったことと、ウェブ化へ移行後初めてのことで、専任のみで実施した。

3. 学生募集関連

4. 2020 年度の活動報告

①新型コロナウイルス（COVID-19）が看護職養成校に与えた影響（資料 3）

○前田学科長より、資料 3 に基づき以下の説明が行われた。

- ・多くの学校が、講義、看護技術演習、臨地実習の開始が遅延した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大が臨地実習に与えた影響について、例年同様という回答がある程度のパーセンテージになっているが、これはほとんど大学の最終学年が占めていると思われる。
- ・非対面方式の講義・演習の実施については、来年度以降、演習の方法の検討、リモート授業の取り入れ方が課題になると思っている。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>学内実習の具体的な方法や、どの程度身につくのが想像できない。メリット、デメリットを伺いたい。</p>	<p>学内実習のメリットは、失敗が許されること。デメリットは、人形でやるので、生身の患者さんとの触れ合いから得られる情動的な面で限界がある。</p>
<p>学校と現場をつないでいく上で、現場で配慮してほしい点を教えてほしい。</p>	<p>体験できた実習によって個人差が激しい。今年は不安を抱えて卒業する学生が多いので、ゆっくりなペースが必要かと思う。</p> <p>その学生が看護学校の卒業に至った背景を情報として持っておくと、介入点が見えてくるかもしれない。</p>

②2021 年度実習組み立てに向けての準備（資料 4～6）

○前田学科長より、資料 4～6 に基づき以下の説明が行われた。

- ・当委員会で頂いた意見を盛り込み、実習の組み立て、実習時間の工夫について東京都と確認中。
- ・小規模多機能施設では、河北医療財団の多摩事業所にある「あい小規模多機能施設こもれび」と

「看護小規模多機能施設ほたる」の2か所、保育園実習は「かわきたおひさま保育園」で受け入れてもらえるよう準備をしている。

- ・老健施設や小規模多機能施設は一度に大人数は受け入れられないので、1グループ7～8人の中で2～3名に分割してローテーションを組む形になる。

5. 2021年度の教育活動と学科運営について

①2021年度実習関連変更事項（資料7、8）

○渡邊教員より、資料7、8に基づき以下の説明が行われた。

- ・実習病院において在院日数が短くなっていることから、実習時間のカウントを1時間=60分から45分に短縮し、学生が思考や情報、記録を整理する時間を取っていきたい。
- ・各カテゴリーで全グループが公平に学べるように調整する。
- ・資料8は2021年度の実習計画である。各学年とも実習時間は少し少なくなる。

②2022年度改正カリキュラムに向けて（資料9、10）

○伊東副学科長より、資料9、10に基づき以下の説明が行われた。

- ・河北時代の看護科独自の教育理念を、今回のカリキュラム改正を機に本校の教育理念に合わせていきたい。
- ・教育目的についても、地域・在宅看護学が入ったことを意識して、「広い視野をもち地域・社会に貢献できる」というふうに「地域」という言葉を入れた。
- ・資料10は検討中の変更部分を示した。9月の書類申請に向けて見直しをしている。
- ・地域・在宅看護論を2単位増やすことになる。
- ・臨床判断能力を養うような科目を各学校で考えていかなければならない。
- ・変更によって単位が増えるが、今回のカリキュラム改正で時間の縛りがなくなったので、単位数は増えても、時間数は減らすこともできる。学校の特性を生かすことが改正の狙いかと思う。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>日看協のナイチンゲール生誕200周年のキャンペーンのZoomを見ていたら、2024年を目標に看護教育を4年制にするようなことを言っていた。学生も大変かと思う。</p>	<p>日看協はずっと前から基礎教育4年制で走ってきている。今度地域・在宅看護論が入るが、大学と3年の専門学校で違いがないとおかしい。大学でやっている行政看護、学校保健、産業看護は除いて、専門学校としての終着点を持っていないと学生はいっぱいいっぱいになると思う。</p>
<p>当校は他学科もあるので、多職種でのコミュニケーションにおけるリスクマネジメントなど、医事系の学科と一緒に構築していく授業もあってよいかと思う。</p> <p>医療事務の経験をした後看護科に入ってきた人もいるが、事務のことが分かっている強みなどを特</p>	<p>看護師が使う言葉は共通言語ではなく、多職種には全く理解してもらえないという話を聞いたことがあるので、介護の人と看護の人で何か事例検討ができると面白い。コミュニケーションの基礎は言葉なので、言葉が通じ合わないと患者さんのケアはう</p>

徴として出せるとよい。

医療秘書科でやっている電子カルテの入力などもある。多職種との連携がうたわれているので、他科と連携して学ぶことも考えたい。

地域との結びつき、その中でのお年寄りや外国人との結びつきをどうつくっていくか。医療や介護に携わる人の連携のための共通言語という視点が重要かと思う。校内で大いにやっていただければと思う。

まくいかない。

他学科があるのはこの学校の強みだと思う。

介護は、盗難や防災までリスクマネジメントに入ってくる。訪問看護、在宅看護も箱の中だけのリスクマネジメントではないという面がある。

今は現場にも経営的な視点が求められてきているので、医療事務の学科があるのはうらやましい。

以上